

据えられたのかもしれませんが。

## 一番勉強したのは大学時代、 一番多くを学んだのは卒業後。

僕は高3の秋までラグビーをやっていたので、本格的な受験勉強をスタートしたのは一浪してからの子備校時代でした。とはいえ、1年間みっちり勉強したかという、小学生からの習慣というのは変わらないわけです(笑)。ただ、少なくとも午前中は勉強しようと思って、朝の3時間は集中していましたね。昔からいかに勉強すればなるべく短い時間で終わるか、効率よく成績を上げられるかなど、勉強する前の段階を考えていることが多かったように思います。分厚い問題集を買ってもはじめの方しかやらないから、それなら薄っぺらい問題集を最後までやって、間違えたところだけ

勉強しよう、とか。

実際、人生で一番勉強したのは、受験のときではなく、大学3年生以降の専門課程に入ってからです。解剖学や病理学に始まって、内科学や外科学など医学の基礎を学ぶんですが、そうなるから面白くて、寝る間を惜しんで親に心配されるくらい勉強しました。

そして、医師としての基礎を本当の意味で学んだのは、やはり卒業後です。僕は大学を出てから虎の門病院で研修医として働きましたが、睡眠時間を削って働いた20代後半から35歳くらいの間に、本当に多くのことを学びました。

あの時期があったからこそ、自分の最初の目的だった「人と接すること」、つまり患者さんを診ることに立ち返って、開業できたのだと思っています。



「人と接する仕事がいい」という想いで医師になった染谷さんらしく、患者さんと同じ目線で診察できるように、いわゆるお医者さんらしい白衣は着ず、いつもニコニコしている。また、クリニックも患者さんがリラックスできるように、落ち着いた色調のインテリアで統一し、ほんのリアロマの香りが漂っています。

# とき、医師への道が拓けてみえた。

## 【医師／内科医になるには？】



### 国立大学の医学部

医学部の教育課程は6年制。多くの場合、最初の2年は一般教養課程に当てられ、その後、解剖学や病理学などの基礎医学課程を経て、解剖実習などの臨床課程へと進みます。文部省によると、医学部に6年間通うのに必要な学費は国立大学では平均で約350万円、私立大学で約2,240万円だそうです。自治医科大学、防衛大学、産業医科大学などは、医師になった後に勤務する条件によって、学費が免除される場合があります。

### 大学の医学部

### 私立大学の医学部



大学の医学部を卒業すると、医師国家試験の受験資格が得られます。この試験に合格すると、晴れて厚生労働大臣より医師免許が交付されます。



### 医師国家試験

医療保険による診療を行うすべての医師は、医師免許取得後、それぞれ大学病院などの研修指定病院で2年間の研修を受けます。医師としての「修業時代」ともいえ、勤務をしながらたくさんの方を勉強する必要があります。一般的には、その後、各専門に分かれてさらなる研修を積み重ねます。



### 医大・研究施設に勤務



### 勤務医として病院に勤務

大学付属病院ではないものの、高度医療をおこなう病院で専門性を高めたり、入院施設のある総合病院などで、キャリアを重ねます。将来は自分の専門性やキャリアを活かして開業する道があります。



### 開業医として開業

一般に患者さんが一番接する機会が多いお医者さんとして病気を治療したり、大きな病気を早い段階で発見したり、頼りにされる存在です。



### 大学病院に勤務

自分の出身大学や、学びたい医療に強い大学の付属病院に勤務し、専門性を高めます。将来は医師としてだけでなく、後輩医師や学生に教える「先生」や、専門を活かして開業する道があります。